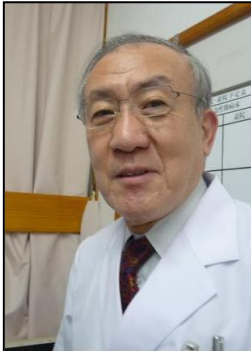


平成 26 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「奨励賞」



旭 俊 臣（あさひ としおみ）

医療法人社団弥生会旭神経内科リハビリテーション病院

1947 年 1 月 1 日生まれ

【授賞理由】

旭氏は個別性を尊重し心を中心に据えた認知症の診療とケアの実践・啓発活動に心血を注ぎ、さらにあらゆる関連分野の認知症診療・ケア技術の向上を図る重要性を唱えてきました。また東日本大震災におけるケアチームの構築と実践は、よりどころを失った多くの人々の心を癒しました。

【略歴】

1973 年 3 月	千葉大学医学部卒業
1973 年 7 月～1976 年 3 月	銚子市立病院精神科
1976 年 4 月～1982 年 12 月	松戸市立病院神経内科
1983 年 1 月～1988 年 3 月	旭神経内科医院
1988 年 4 月～2004 年 1 月	旭神経内科病院
2004 年 1 月～	旭神経内科リハビリテーション病院

【業績および活動内容】

1997 年に千葉県内の医療介護関係者、認知症の人と家族の会等に呼びかけ千葉認知症研究会を発足させた。また、2006 年には松戸市医師会主催で松戸市認知症研究会を作り研修会を行ってきた。2009 年に千葉県認知症対策推進協議会が発足し、作業部会長として認知症診療ケアの連携システムの構築を担当した。その後、認知症診療ケアの連携をとるために尽力し認知症コーディネーターの育成をととして千葉県認知症連携パス（オレンジ連携シート）として完成させた。

東日本大震災後、大船渡市・陸前高田市において認知症高齢者への支援活動を開始した。現地の病院、施設職員とともに仮設住宅にひきこもる認知症高齢者に対しデイケアを行い、ひきこもり、BPSD の改善につなげている。

【主な著書・論文】

- 1) 旭俊臣：心の問題で自殺する人を一人でも減らしたい。（海堂尊監修）救命；東日本大震災，医師たちの奮闘，新潮社，東京（2011）.
- 2) 旭俊臣：うつ病，寝たきり，認知症高齢者に対する震災後の岩手県気仙沼地区（陸前高田市・大船渡市）における巡回型心のデイケア研究．公益財団法人在宅医療費助成勇美記念財団「在宅医療研究への助成」研究（2013）.
- 3) 旭俊臣：千葉県における認知症高齢者への対応．（公益社団法人日本リハビリテーション医学会監修）リハビリテーションと地域連携・地域包括ケア，診断と治療社，東京（2013）.